

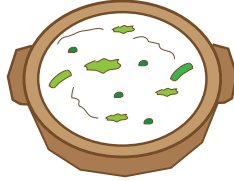
季節の行事と暦

春

じんじつ

人日の節句

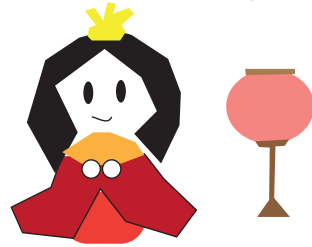
1月7日。七草粥を食べることから七草の節句ともいう。



じょうし

上巳の節句

3月3日。ひな人形を飾る。桃の節句ともいう。



春分

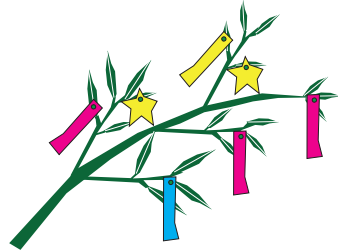
3月21日頃。昼が長くなり夜とほぼ同じ長さになる日。

秋

しちせき

七夕の節句

7月7日。七夕の日。彦星と織姫が会うという伝説がある。



ちょうよう

重陽の節句

菊を飾ったり菊酒を飲んだりする。菊の節句ともいう。



秋分

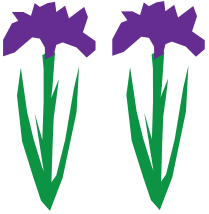
9月23日頃。昼が短くなり夜とほぼ同じ長さになる日。

夏

たんど

端午の節句

5月5日。菖蒲をかざる風習があり菖蒲の節句ともいう。



ころもがえ

更衣

季節に合わせて服を入れ替える。



げし

夏至

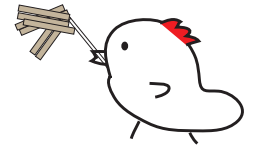
6月21日頃。北半球で昼が最も長くなる日。

冬

とうじ

冬至

12月22日頃。北半球で昼が最も短くなる日。



すす払い

正月を迎えるにあたりすすやほこりを払い大掃除をする日。

ついな

追儺

悪鬼や疫病を追い払う行事。もともとは大みそかの夜に行われていたが現在は節分に行われる。

